

寛容

「寛容」の美德は、「私は寛容です。私は人の欠点を見過ごします。私は違いを良いものとして評価します。私は改善しなくてはいけないことは潔く受け入れます。」ということです。では、『寛容』であるとは、どのようなことでしょうか。

「寛容」であるとは、違いを良いものとして認めることです。他の人たちが自分とまったく同じように考えたり、見たり、話したり、行動したりすることを期待しないことです。あなたとあなたの隣の人は、まったく同じですか。人は誰にでも心があり、必要なものがあり、希望があり、夢がありますね。それはみんな違っていいのです。

また、「寛容」であるとは、その違う人たちがリラックスできるようにすることです。それには、誰かが間違いを犯しても、ゆるしてあげるという気持ちを示してあげることです。でも、間違いをすべて許すということではありません。人が自分を傷つけるといった間違いのときは、はっきりといやだということが大切です。

そして、自分が直さないことといけないことを受け入れるというのも「寛容」であるということです。お家の人や先生に注意されたことは、素直に受け入れるということです。たぶん、それには耐えるということも必要になるかもしれませんね。それが、みなさんには一番難しい「寛容」かもしれませんね。

寛容な人は、自分が望んでいることや期待していることと違うことになったとしても我慢することができます。寛容であれば自分たちと違っていても仲間として受け入れることができるのです。